

日本語のしくみⅡ

科目ナンバリング JLE-103

選択 2単位

奥村 徹

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、日本語教員を目指す学生を対象として行われる。春季は、日本語以外の世界の言語にも視野を広げながら、日本語の語彙、音声などについて、紹介したが、秋季は、より実践的な、日本語学習者から、質問されやすい「文法」の基礎について、学ぶ。できるだけ、範囲を網羅したいと思うが、週一回の授業では限界があり、本当に日本語教育の現場に立つためには、さらなる自己研鑽が必要であることは言うまでもない。したがって、重要な知識の定着も図るが、自ら、文法現象を解析する能力も身につけてもらいたい、と願っている。

具体的には、品詞論、動詞の活用、ヴォイス、テンス、アスペクトなど、実際の教室での日本語教育の体験などを織り交ぜながら、紹介していく。オンライン授業となるので、レベルの低い学生の面倒は見切れない。よって、上位者に焦点を当てて、レベルの高い授業にする予定である。単位が欲しいだけの学生は、今年は遠慮してもらいたい。

2. 授業の到達目標

品詞論、動詞の活用、ヴォイス、テンス、アスペクトなどについて、例を挙げて、わかりやすく説明する能力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

小レポート10回＝50%、毎回のフィードバックペーパー30%、テスト1回＝20%

4. 教科書・参考文献

参考文献

『はじめての人の日本語文法』

5. 準備学修の内容

毎回、予習を指定し、それを前提として授業を行うので、予習は必須である

6. その他履修上の注意事項

教育学部以外の履修希望者は、日本語教員養成コースへの登録が必要である

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------|
| 【第1回】 | 授業説明、前期の復習 |
| 【第2回】 | 言語普遍性について |
| 【第3回】 | 品詞論 動詞・形容詞・名詞 |
| 【第4回】 | 品詞論 その他の品詞 |
| 【第5回】 | 動詞の活用のタイプ1 |
| 【第6回】 | 動詞の活用のタイプ2 |
| 【第7回】 | 動詞のて形の作り方 |
| 【第8回】 | は／がの使い分け |
| 【第9回】 | 現代日本語のテンス |
| 【第10回】 | アスペクト論 |
| 【第11回】 | ヴォイス1 受け身文 |
| 【第12回】 | ヴォイス2 使役、使役受け身 |
| 【第13回】 | 動詞と助詞の組み合わせ |
| 【第14回】 | モダリティ |
| 【第15回】 | 助詞、助動詞相当句 |